



開 特別史跡名古屋城 西の丸御蔵城宝館 2021/11/1 館

開館記念特別展「名古屋城誕生!」11月1日(月)～12月19日(日)

重要文化財 本丸御殿障壁画 松楓禽鳥図(部分) 名古屋城総合事務所蔵



西の丸御蔵城宝館は、 重要文化財本丸御殿障壁画をはじめ名古屋城が所蔵する 文化財を保存・公開するため、新たに設けられた施設です。

江戸時代、この地は米を保管する御蔵が並んでおり、館の外観はこれを模した姿になっています。

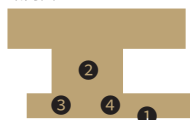
「御蔵城宝館」という名前にも、城の宝である文化財を保管する「御蔵」という意味が込められています。

また、歴史情報ルームでは名古屋城の歴史を紹介し、展示室では本丸御殿障壁画をはじめとする文化財を展示します。

西の丸御蔵城宝館は「城宝」を保存して後世に伝え、名古屋城に関する様々な「情報」を発信する拠点となることを目指します。



館内図



- ①入口
- ②展示室
- ③歴史情報ルーム
- ④ミュージアムショップ



展示室：本丸御殿障壁画をはじめとする文化財を展示します。
※令和3年春プレオープン時の展示です



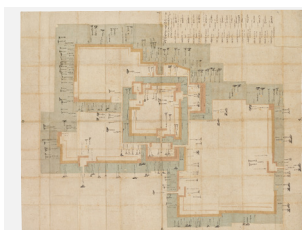
歴史情報ルーム：名古屋城の歴史を常設展示で紹介します。

開館記念特別展「名古屋城誕生！」

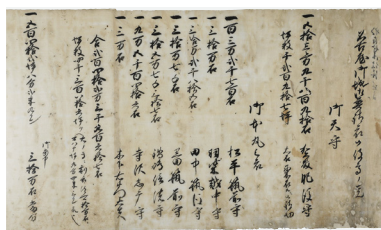
令和3年(2021) 11月1日(月)～12月19日(日) 会期中無休

展覧会概要

慶長14年(1609)、徳川家康は九男義直の居城として名古屋城の築城を決定しました。翌年にはじまった石垣普請には、西国・北国から20もの大名が動員され、長大な石垣を短期間のうちに築き上げました。本展では名古屋築城普請に関する新発見の史料などをとおして石垣普請の実態をさぐるとともに、本丸御殿の壮麗な障壁画を紹介します。



初公開 名古屋御城石垣絵図 靖国神社遊就館蔵
写真撮影：東京大学資料編纂所



初公開 名古屋御城御普請衆御役高ノ覚(部分)
熊本大学附属図書館蔵



五条橋擬宝珠 慶長7年(1602) 名古屋城総合事務所蔵 徳川家康坐像 江戸時代 名古屋城総合事務所蔵



今後のスケジュール

令和4年1月2日～4月10日

企画展「武家の備え」

令和4年4月23日～6月12日

企画展「風薫る 殿の御庭」

※令和3年12月20日～令和4年1月1日は、御蔵城宝館には入館できません。

西の丸御蔵城宝館 利用案内

開館時間／午前9時～午後4時30分(最終入館 午後4時)

休館日／12月29日～31日、1月1日(4日間)

ただし、催事等により変更となる場合があります。

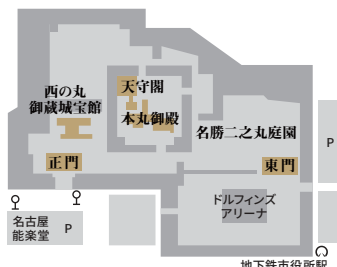
入館無料(名古屋城観覧料が必要です。天守閣には入館できません。)

名古屋城交通アクセス

地下鉄／名城線「市役所」下車7番出口より徒歩5分

市バス／栄13号系統(栄～安井町西)「名古屋城正門前」、

なごや観光ルートバス「メーグル」「名古屋城」下車 徒歩1分



お問い合わせ 名古屋城総合事務所 〒460-0031 名古屋市中区本丸1番1号 TEL:(052)231-1700